

令和6年度 第1回千葉市緑区公民館運営審議会議事録

- 1 日時 令和6年7月11日(木) 午後2時～午後3時15分
- 2 場所 千葉市誉田公民館 1階 会議室
- 3 出席者 委員 10人
- | | |
|---------------|----------------|
| 遠藤 秀隆 委員(委員長) | 近藤 里子 委員(副委員長) |
| 石田 政充 委員 | 岡村 奈保 委員 |
| 尾上 直美 委員 | 北島 啓行 委員 |
| 櫛田 朱美 委員 | 久保 房代 委員 |
| 館野 和枝 委員 | 野崎 崇 委員 |
- 事務局 14人
- | | |
|-----------------|---------------|
| 岩井課長補佐(生涯学習振興課) | 山本主査(生涯学習振興課) |
| 小林主任主事(生涯学習振興課) | 高本室長(公民館管理室) |
| 久保田主査(公民館管理室) | 金子主事(公民館管理室) |
| 山下館長(誉田公民館) | 日高館長(椎名公民館) |
| 上野館長(土気公民館) | 熊野館長(越智公民館) |
| 古賀館長(おゆみ野公民館) | 島尾副館長(誉田公民館) |
| 滝事務員(誉田公民館) | 小川主事(誉田公民館) |

4 次第

- (1) 開会
- (2) 千葉市生涯学習振興課課長補佐挨拶
- (3) 委嘱状の交付
- (4) 委員・職員紹介
- (5) 委員長・副委員長選出
- (6) 議事
 - ① 報告事項
 - (ア) 令和5年度千葉市緑区公民館利用状況について
 - (イ) 令和5年度千葉市緑区公民館事業報告について
 - ② 協議事項
 - (ア) 令和7年度千葉市緑区公民館事業計画について
- (7) その他
- (8) 閉会

5 議事の概要

- (1) 委員長の選任等
委員の互選により、遠藤委員が委員長に選任され、近藤委員が副委員長に指名された。
- (2) 報告事項
 - ア 令和5年度千葉市緑区公民館利用状況について

令和5年度の千葉市緑区各公民館の「開館日数」「利用者数」及び誉田公民館図書室、越智公民館図書室の「開館日数」「蔵書数」「登録者数」「貸出冊数」等について事務局（誉田公民館長）から報告した。

イ 令和5年度千葉市緑区公民館事業報告について

令和5年度の千葉市緑区全体事業報告、各公民館主催事業報告を事務局（各公民館長等）から順次報告した。

(5) 協議事項

ア 令和7年度千葉市緑区公民館事業計画について

報告事項等を踏まえ、令和7年度千葉市緑区公民館事業計画や公民館での今後の取り組みについて委員に意見を伺った。

6 質疑応答

(1) 報告事項

ア 令和5年度千葉市緑区公民館利用状況について

岡村委員 各館の利用状況は、地域の人口と比較してどのようになっているか。

山下館長 後ほど資料を確認して、お伝えする。

※会議終了後、公民館はエリアで利用できる場所が決まっているわけではないので、人口と各館との利用状況を比較することはできないことを説明し、了承を得た。

イ 令和5年度千葉市緑区公民館事業報告について

岡村委員 オンラインで開催した講座の延べ受講者数は、どのようなものなのか。また、どのような方法でオンラインを実施しているのか。

山下館長 当日の講演、講義などを録画したものを、ユーチューブを使って配信し、それを見ることができるようになっている。スマートフォンやパソコンなどを使ってQRコードを読みとり視聴できるので、当日と期間内に視聴した方の数を入れている。

岡村委員 いくつかの公民館で同じオンライン講座（ウンチ化石のマニアックな世界など）を実施しているが、それは共催という形なのか。

古賀館長 生涯学習センターがオンライン講座の受信希望を募り、希望した公民館が同時に開催している。

岡村委員 せっかくインターネットで多くの人に視聴してもらえるので、一つの公民館が企画した講座などを他の公民館で共有できると有意義であると思う。

館野委員 過去のオンライン講座を再度流す計画はあるか。話題になったものや見逃したものを見る機会になると思われる。

山下館長 期間を限定して配信しているので、過去のものには配信していない。

館野委員 ユーチューブを見ると、かなり昔のものも視聴できるようになっているので、期間を限定する理由はあるのか。

滝事務員 インターネットの特性上、期間を限定しないと永久にネットに流

れたままになってしまうマイナス面もあるので期間を設けている。
期間は長くても一年間くらいにしている。

久保委員 「子育ておしゃべりタイム」は、区の事業ということであるが、どのエリアから来館しているケースが多いのか。地元の関係を深めたい方もいれば、他の地区とのかかわりを求める方もいると思うが。

山下館長 基本的に居住している地区の方が多いが、誉田公民館で開催の時におゆみ野地区や他の地区の方が来館されることもある。

櫛田委員 誉田公民館の夏休みの子供講座の倍率が高いが、抽選時の基準などはあるのか。

山下館長 地域の学校である誉田小学校と誉田東小学校に講座の案内を配布している。抽選方法については、コンピュータを使って公正公平に行っている。

野崎委員 誉田小学校では、公民館のサークルの方が「放課後子ども教室」の講師として来校され、放課後の子供の居場所づくりにも協力していただいている。他の公民館ではいかがか。

古賀館長 各サークルに、子どもたちに何かできることはあるかとアンケートは実施したが、実際に行っている話は現在聞いていない。

上野館長 書道サークルの方が、書初めの練習を見に行ったことはある。今年度は、子供たちに公民館をよく知ってもらうために、「子供館長」という企画を取り入れた。土気小学校の希望する児童に館長として、公民館の行事に参加してもらっている。

熊野館長 小学校で図書を読み聞かせのイベントを実施している。

日高館長 コロナ禍の前は、音楽のサークルが地元の椎名小学校と交流を持っていた。今後はまた復活させていきたいと聞いている。

野崎委員 本校の児童は、誉田公民館の自習室を利用する子供が多い。放課後の家の中だけだと、活動の幅は狭まると思われるので、公民館の存在は、ありがたいと思っている。

山下館長 今後も小学校との連携は、大切にしていきたい。

遠藤委員 誉田公民館は、子供の利用も増えており、喜ばしいことである。私もボッチャや書道などで小学校とのつながりがあるので、今後も応援していきたいと思っている。

(2) 協議事項

ア 令和7年度千葉市緑区公民館事業計画について

岡村委員 年代によって情報収集の仕方が違うので、高齢者がよく行くような場所に、目につくような広告を掲示することが必要である。たとえば、地元のスーパーマーケットなどに広報したりするのがいいのではないか。市政だよりや公民館だよりは私自身、ほとんど見ることがない。若い人はインターネットを活用するので、ホームページなどを作ってそこにアクセスする方法でも構わない。公民館に限

らず他の施設や機関でも必要なことだと考える。子供の居場所づくりが必要で、千葉市には児童館などがないので公民館がその役割を担っていく必要がある。自習室や調理室など子供が活用できる場をぜひ用意してほしい。

近藤委員 越智公民館で折り紙教室に関わっているが、年齢にかかわらず参加できる点がいいと思う。歴史ブームの影響もあり、最近は段ボールでの甲冑づくりにも取り組んだ。

野崎委員 小学校の目線で考えると、工作、料理の講座を増やすと子供は喜んで参加すると思う。また、そば打ち、フラダンス、味噌づくり、歴史関係、エンディングノートなど、大人の興味を引くものを継続させていくことも大切と考える。

尾上委員 誉田東小学校で放課後子ども教室を担当している。料理は人気があるが、けがの注意や事故への対応などで講師が大変だと思う。工夫して実施していくことが必要である。また、民生委員として多くの高齢者と関わっているが、運転免許証の返納により移動しづらくなっている方が多い。アクセスの便が良い場所での開催や足の状態が悪くても参加できるような内容を考えることも必要である。

久保委員 調理関係の希望が多い反面、講師が不足している。それを解消するために千葉市の食育推進委員を活用してほしい。緑区には36人いるので、必要であれば声をかけてほしい。実際、味噌づくりを1年生に行ったことがある。調理は小さい年齢だと危険もあるが、小さい年齢から食育を行っていくことは重要と考える。

遠藤委員 スポーツの世界でも同じで、3～5歳など始めているとどのようなものもうまくこなしている。子供たちにとってはチャンスなので、ぜひ協力していただけたらと思う。